研修申し込み・問い合わせ

〒016-0014
秋田県能代市落合字上前田地内
JA秋田厚生連　能代厚生医療センター
TEL　0185-52-3111
FAX　0185-55-0123
E-mail　somu@yamamoto-hosp.noshiro.akita.jp

ホームページ

能代厚生医療センター

臨床研修案内

2022

JA秋田厚生連
能代厚生医療センター

能代厚生医療センター

基本理念

わたしたちは、地域中核病院として
地域の皆様の健康を守ります。

基本方針

1. 地域の皆様に信頼され、愛される
   病院づくりを推進します。
2. より安全で高度な医療を提供します。
3. 優れた医療者を育成します。

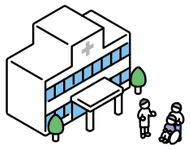
もくじ

02　病院概況
03　フロアマップ
04　病院の特徴
05　研修のアピールポイント
06　初期臨床研修プログラム
07　プログラムの目標と特徴
08　時間外救急研修
09　教育プログラム
10　院長からのメッセージ
　　プログラム責任者からのメッセージ
　　研修医からのメッセージ
12　病院見学
13　応募方法 / 研修風景
14　プログラム詳細

病院概況

令和４年４月１日時点

開設年	昭和８年２月
開設者	秋田県厚生農業協同組合連合会
院長名	太田原　康成
病床数	393床 （一般281/ 精神科60/ 地域包括ケア48/ 感染症４）
標榜科	血液・腎臓内科・リウマチ科、精神科、神経内科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、糖尿病・代謝科、腫瘍内科 リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
外来患者数	753.3人 / 日
救急患者数	10,660人 / 年
入院患者数	319.8人 / 日（平均在院日数 17.9日）
救急搬送数	2,419台 / 年
剖検数	１名 / 年
職員数	620名 （医師58/ 医療技術106/ 看護職員317/ その他121）
主な指定状況	救急告示病院、災害拠点病院、精神科救急指定病院、労災保険指定医療機関、母体保護法指定医療機関、肝炎治療指定医療機関、指定自立支援医療機関（育成・更生医療）、指定養育医療機関、病院群輪番制病院、地域がん診療病院、臨床研修病院（基幹型・協力型）、保険医療機関、第二種感染症指定医療機関、指定自立支援医療機関（精神通院医療）、身体障害者福祉法指定医療機関、生活保護法指定病院



フロアマップ

7F	7A 病棟 /7B 病棟
6F	6A 病棟 /6B 病棟
5F	5A 病棟 /5B 病棟 訪問看護ステーション / 居宅介護支援事業所
4F	4A 病棟（地域包括ケア） リハビリテーション室
3F	3B 病棟（精神病棟） 感染症病棟 / 血液浄化センター / 臨床工学科 化学療法室 / 宿泊ドック
2F	【外来】 循環器内科 / 耳鼻咽喉科 / 皮膚科 / 産婦人科 / 泌尿器科 腫瘍内科・形成外科 / 呼吸器外科 / 精神科 / 精神デイケア 健診センター / 中央手術部 / 検査科 / 医療安全対策室 中央監視室 / 医局 / 事務室 / 院長室 / 副院長室 看護部長室 / 事務長室
1F	【外来】 血液腎臓内科・リウマチ科 / 外科 / 消化器科 / 呼吸器内科 脳神経外科・神経内科 / 整形外科 / 眼科 / 糖尿病・代謝科 小児科 / 中央処置室 / 救急外来 リハビリテーション科 / 薬剤科 / 放射線科 / 患者支援センター がん相談支援センター / 認知症疾患医療センター エントランスホール /ATM/ レストラン / ローソン / ドトール / 美容室

エントランスホール

高い天井と壁面、大きなガラス窓からは外部の光が差し込むような設計です。

患者支援センター

医療福祉相談、入退院支援、地域医療連携の３つの部門があり、患者さんが安心して治療を受けられるよう、総合的な支援に努めています。

感染症病棟

二類感染症、コロナウィルス感染症などの入院患者を受け入れる感染症指定医療機関として県より指定を受けています。

化学療法室

外来通院で抗がん剤治療を受けることが出来ます。専任スタッフが化学療法中の生活をサポートいたします。

放射線治療センター

各種癌の根治療法の他、術前照射、腫瘍による症状の緩和等幅広く行なっています。

血液浄化センター

ひろびろとしたスペースの中、明るく快適な環境で人工透析を受けられます。個人用テレビ、更衣室、休憩室も完備。

病院の特徴

広範な医療圏と多彩な疾患

医療圏は非常に広範で、秋田県北部のほぼ全市町村の他に、青森県深浦町までの日本海沿岸に及び、**４つの二次医療圏をカバー**。この広範な地域で**唯一の基幹病院**であるため**患者／疾患に偏りがなく、**小児医療から高齢者医療、救急疾患から慢性疾患まで**多彩な患者さん**が集まります。

幅広い救急医療

救急医療において**この広範な地域の救急患者の70％以上（月約900人）が当院を受診**され、従って幅広い疾患に対するプライマリーケアを提供しています。

唯一の基幹病院

健診活動や訪問看護など地域保健医療にも携わり、秋田県北部と青森県南部の医療を背負っています。

多くの病院が集まる都市部の病院では経験できない！

当院研修の３つのアピールポイント

1 少人数制

症例も、手技も、どんどん経験したい人にはぴったり。

病院見学で当院の雰囲気を肌で感じてほしい！

2 多くの指導医から診療科を超えた指導

診療科の枠を超えたつながりと雰囲気を大切に。

3 全国の大学から研修医が集まっています

研修医 出身大学

■東北地方
弘前大学、岩手医科大学、秋田大学、山形大学

■関東以西
自治医科大学、東京大学、帝京大学、神戸大学、岡山大学、九州大学

東北地方だけでなく、西日本からも！

長崎県五島列島診療所研修

長崎県佐世保総合医療センター　宇久診療所
地域医療、総合診療の充実

へき地医療の実際

診療所では、見学を中心としながら診療に携わらせていただきました。島民の方々と接する中で、「なぜこのように不便な場所で生活を続けているのだろう」という頑なであった考え方から、個々の価値観や背景、故郷への想いを介そうという意識に変えられていきました。これは私が、日常診療において蔑ろにしがちな部分でもありましたので、本来医療を通して守るべきものとは何かを再確認する良い機会となりました。

当院の医療圏の一部には、離島よりも医療とのアクセスが悪く、日々不安を感じておられる方々がいらっしゃるのではないかと思います。物理的なアクセスの悪さを補う工夫と努力と、宇久島では様々目にすることができたため、その知識を応用しながら、より地域の方々が安心して暮らせる医療の基盤を提供できるよう、尽力してまいりたいと思います。

平成30年度２年目研修医

初期臨床研修プログラム

幅広い分野から選択可能で、選択の自由度が高い。
2020年新制度にもしっかり対応。

必修科目

内科系：35週、救急研修：12週、地域医療：4～5週
外　科：（外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、呼吸器外科）
から1科目選択：5週間
産婦人科、小児科、精神科：各5週

救急研修は気道確保、気管挿管などの麻酔科実習を1年次に5週間、日中の救急外来を5週間、残り4週間分以上は2年間の時間外救急外来で経験します。

自由選択

内科系、外科系、産婦人科、麻酔科、小児科、精神科、皮膚科、
放射線科、病理診断科、宇久診療所、保健所研修

注）内科系：血液・腎臓内科 リウマチ科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科
外科系：外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、呼吸器外科
以上の幅広い分野から選択し、専門的研修ができます。

基本スケジュール

1年目	【必修】内科系 35週			【必修】外科系 5週	【必修】救急 5週	【必修】救急麻酔 5週	【必修】産婦人科 5週
2年目	【必修】精神科 5週	【必修】小児科 5週	【必修】地域医療 5週	自由選択 34週			

バリエーション1　1年目に自由選択（キャリア研修）を行う

1年目	【必修】内科系 35週				キャリア研修 12週	【必修】救急 5週	【必修】救急麻酔 5週
2年目	【必修】外科系 5週	【必修】精神科 5週	【必修】地域医療 5週	【必修】小児科 5週	【必修】産婦人科 5週	自由選択 22週	

初期臨床研修プログラムの目標と特徴

バリエーション豊かな多くの患者さんを経験することにより、
幅広い領域の臨床力、プライマリーケアを修得します。

！少人数制のため、研修医一人当たりの症例数・バリエーションが豊富。

診療科数、病院規模、患者数に比べて募集定員が少ない。
➡ 指導医からの指導も受けやすくなります。
多くの指導医から診療科を超えた指導を受けられるのも大きな魅力の一つ
少人数制のため、診療科選択も融通が利きます。

どんどん
研修したい人には
ぴったりの病院！

！病院の特徴を生かした臨床研修

広範な医療圏から集まる**多彩な患者、救急診療**
✚ **選択の自由度が高いプログラム**
内科系・外科系、その他、幅広い分野から選択可能
➡より**幅広い領域の臨床力、プライリマリーケアを修得**できます。
…初期臨床研修では重要なポイント！

さらに
少人数制の魅力
も加わる

充実した病院群を形成し、組織をあげてバックアップ。

協力病院：JA秋田厚生連病院グループ、秋田大学附属病院、岩手医科大学附属病院、
秋田赤十字病院、JCHO秋田病院、能代山本医師会病院　など
協力施設：能代保健所、長崎県五島列島宇久島診療所（佐世保市総合医療センター）

指導体制

■管理者
太田原　康　成（脳神経外科　院長）

■プログラム責任者・研修管理委員長
久保田　　均　（整形外科　副院長）

■副プログラム責任者
藤　島　裕　耕（消化器内科　副院長）

■学生実習担当
近　野　勇　樹（小児科　科長）
山　田　　篤　（精神科　科長）

■指導医数　令和4年4月1日現在

血液・腎臓内科　リウマチ科	2名
循環器内科	2名
消化器内科	1名
呼吸器内科	1名
精神科	2名
小児科	1名
外科	2名
脳神経外科	2名
麻酔科	1名
整形外科	5名
皮膚科	1名
泌尿器科	1名
産婦人科	2名
耳鼻咽喉科	1名
放射線科	2名
病理	1名
呼吸器外科	2名

時間外救急研修

段階的にステップアップし、実力をつけます。

当直／ 17:00 ～翌 8:30
日直／ 8:30 ～ 17:00
合わせて月３～４回です。
＜日当直手当あり＞

当直明けの翌日は…
全回 １日休暇可能！

２年次
当直担当医師として当直業務を行います（first call）が、上級医が院内待機するので安心

１年次後半
１か月、日中の緊急外来を担当します（first call）。

１年次
当直担当医師（上級医）１名と共に当直業務を行い、指導を受けます。

昼間救急研修（1か月間）の紹介

■ある一日の経験

1. 嘔吐、食道狭窄（食道がん疑い）
2. 脳出血・脳室穿破
3. 慢性閉塞性肺疾患、肺炎
4. 貧血、うっ血性心不全、心房細動、肉眼的血尿（膀胱腫瘍疑い）
5. アルコール性肝硬変
6. くも膜下出血

■ ACLS の実施

1. 心室細動
2. 解離性大動脈瘤

■ １か月間の主な経験症例

解離性大動脈瘤、急性冠症候群、
うっ血性心不全、心室細動（心肺蘇生）、
心房細動、脳出血、脳梗塞、くも膜下出血、
急性硬膜下血腫、肺炎、胆のう炎、
尿路結石、膀胱炎、貧血、大腸がん、
胃がん、アルコール性肝硬変
交通外傷、骨折、指切断
低体温症　など
その他、一次救急疾患

教育プログラム

■講義

●当院指導医による講義
●秋田大学医学部、岩手医科大学 講師による講義

■合同カンファレンス

● CPC
● Cancer board： 月１回（秋田大学腫瘍内科との合同カンファレンス）
●画像カンファレンス：週１回各診療科が画像を提示する勉強会

キャンサーボード

■講演会、セミナー

●秋田大学、岩手医科大学などから講師を招いた講演会
●能代山本がんセミナー、緩和ケア研修会など

■ BLS 講習会

BLS 講習会を院内開催しています。
ACLS 参加費を支給しています。

■ ICLS（Immediate Cardiac Life Support）講習会

秋田大学救急部による日本救急医学会認定蘇生トレーニングコース、日本救急医学会から「修了証」がもらえます。

多くの指導医が参加する画像カンファレンス

■救急カンファレンス（週１回）

●研修医が経験した救急患者を15分程度でディスカッション

■腹部エコー実習、心エコー実習

●１年次４月から開始して、FAST（focused assessment with sonography for trauma）の修得など救急外来研修にも役立ちます。
●秋田医師総合支援センターによる「救急エコーセミナー」

後期研修について

専門的分野における高度な知識や技術の修得と、各科専門医の資格取得を目指します。

内科、外科、皮膚科、精神科、産婦人科、整形外科、泌尿器科、脳外科、消化器内科、血液内科、がん治療等、多数の分野での学会施設認定を受けています。

新専門医制度に従って、秋田大学、岩手医科大学病院などと連携して多くの基本領域、subspecialty 領域の専門研修が可能です。

医療圏が広範なので、初期研修同様、専門領域でも多彩な疾患・患者さんを経験でき、また、多くの学会認定施設にも認定されているので、十分な専門研修が受けられます。

Message

～皆さんへ伝えたいこと～

病院長からのメッセージ

太田原　康成

出身地：岩手県　出身大学：旭川医科大学
専門科：脳神経外科

病院では毎日いろいろなことが起こります。病院はドラマの舞台、ドラマの主人公である患者さんは全力でぶつかってきますので、私達医療スタッフも全力で受け止めなければとても太刀打ち出来ません。

研修医の先生方には、日々の医療現場をありのままに体験してもらいます。研修医が経験したい手技は、救急・病棟・手術場に山ほどありますので、しっかりとした指導のもとで数をこなせば会得は時間の問題です。大切なのは手技の習得ではなく、どのように診断にたどり着くか、そして全力でぶつかってくる患者さんとどう対峙するかです。説明には十分な知識が必要です。知識があれば余裕ある説明となり、患者の気持ちの変化を読み取る余裕が生まれます。研修医がステップを踏んで次のステップに進んでいく姿は、傍からみて輝かしいばかりです。幸い私達の病院には、指導熱心な医師と症例が豊富です。皆さんが仲間入りしてくれるのを心待ちにしています。

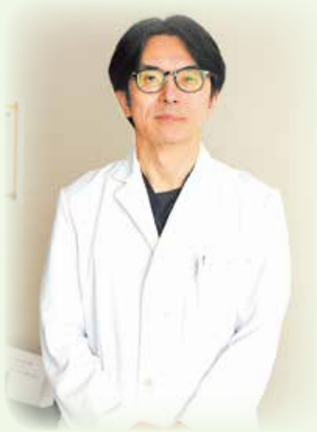
図書館

看護室

医局

訪問看護

プログラム責任者からのメッセージ



久保田　均

出身地：福島県　出身大学：秋田大学
専門科：整形外科

自分は学生さんと接することによりいつも新鮮な刺激を受けています。実習でも教えるというよりは一緒に学んでもらうという感じでいます。

当院は病院としては中規模ですが地域では中核の病院であり、大学などでは診ることができない一般的なありふれた病から専門的な疾患まで、幅広く診て経験することができると思います。そして実習では、見るだけではなく、実際に患者さんに触れて体験し学んでもらえたらと思っています。講義や大学の実習ではわからない医療の実際、現場を体験していただき、そして病院全体や医療スタッフなどの雰囲気も肌で感じとってもらえれば良いなと考えています。

百聞は一見にしかず、百見は一考にしかず、百考は一行にしかず。1日でも2日でも2年でも、実習でも見学でも夜の懇親会でも、1人でも2人でも10人でも、まず気軽にぜひお越し下さい。

研修医からのメッセージ

佐藤　皓亮

出身地：秋田県
出身大学：秋田大学

当院は県内でも有数の広範な医療圏を持つ病院であり、他に大きな病院もないことから様々な疾患の患者さんが来院されます。その一方で、当院の初期研修は少人数制となっており、研修医一人当たりが経験できる症例の数と種類の豊富さが、当院での研修の最大の魅力です。

また研修医の数が少ない分、指導医の先生方が我々研修医一人一人をしっかりと育てようとしてくださるのを感じます。相談したいことがあれば気軽に指導医の先生方に声を掛けられる雰囲気も大きな強みです。ぜひ一度見学にいらして、その雰囲気を感じてみてください。

病院見学 当院は、診療科の枠を超えた横のつながりを大切にしています。

当院での臨床研修を希望される学生さんはもちろん、研修先を迷っている後期研修の病院をお捜しの初期研修医の皆さんも歓迎致します。是非**当院の雰囲気を肌で感じて**ください。

■お申込み方法

当院ホームページの「臨床研修医募集」をクリック。
「病院見学について」の中にある、
下記アドレスに必要項目を入力して送信してください。

somu@yamamoto-hosp.noshiro.akita.jp

■件名／見学申込　■お名前
■大学・学年または病院・卒年
■見学希望日　■見学を希望する科
■連絡の取れる電話番号　■メールアドレス
■その他ご要望など

ご希望の診療科と日程等調整してお返事します。
学年は問いません。全診療科を見学可能で、
夜間救急外来も見学可能です。

■見学可能日は土・日・祝日以外となっております。

（春休みなどの休暇を利用する方が多いようです。）

■上履き、白衣、聴診器をご持参ください。

宿泊・食事は当院でホテルなどをご用意します。交通費支給制度あり（応談）

Amenity

研修医室：大きな窓に
約40畳の広さでゆったり

研修医専用当直室

その他、ローソン、
ドトール、レストラン
等充実しています!!

豊富なドリンク類

BLS
院内講習会を
実施しています。

BLS 講習会

応募方法

■募集定員　5名　**■身　分**　正職員

■給　　与　1年次月額 499,800円　1年次賞与（年額） 758,981円
2年次月額 531,400円　2年次賞与（年額）1,250,400円
※月額はおおよその平均値。他に時間外手当・日当直手当あり
学会参加　年3回まで参加費・旅費・宿泊費等支給

■社会保険・労働保険

東京都農林漁業団体健康保険・厚生年金・労働者災害補償保険・雇用保険

■医師賠償責任保険　病院自体加入・任意の個人加入可

■宿　舎　・アパート：5万円まで病院負担　・個人賃貸：5万円まで病院負担

■応募方法

①試験：小論文・面接
申込締切日／2022年8月中旬予定
試験実施日／2022年7月下旬～8月下旬予定（要問合せ）
②マッチング参加

ZOOM による on-line
面談を準備しています。

■提出書類　履歴書・卒業（見込）証明書・成績証明書・健康診断書

■応募連絡先

住　所　〒016-0014　秋田県能代市落合字上前田地内
担当課　総務管理課　髙橋 秀光　TEL　0185-52-3111
E-mail　somu@yamamoto-hosp.noshiro.akita.jp

ホームページからも応募できます。
http://yamamoto-hosp.
noshiro.akita.jp/

1年次 4月から
早速、IVH 留置
実習を開始！

中心静脈（大腿静脈）
カテーテル留置実習

小人数なので
マンツーマン方式！

気管挿管実習

手術への参加

どんどん
やりたい人には
バッチリ！

研修　風景

能代厚生医療センター 臨床研修プログラム

1 臨床研修責任者

①総括責任者
太田原　康　成（院長　脳神経外科）

②プログラム責任者・研修管理委員長
久保田　　均（副院長　整形外科）

③副プログラム責任者
藤　島　裕　耕（副院長　消化器内科）

④学生実習担当
近　野　勇　樹（診療科長　小児科）
山　田　　篤（診療科長　精神科）

2 研修期間

原則として２年間

3 研修施設

①基幹型臨床研修病院
能代厚生医療センター

②協力型臨床研修病院
秋田大学医学部附属病院
（研修実施責任者　中山 勝敏）
岩手医科大学付属病院
（研修実施責任者　伊藤 薫樹）
秋田赤十字病院
（研修実施責任者　小棚木 均）
秋田厚生医療センター
（研修実施責任者　畑澤 千秋）
由利組合総合病院
（研修実施責任者　西成 民夫）
大曲厚生医療センター
（研修実施責任者　三浦 雅人）
平鹿組合総合病院
（研修実施責任者　伏見 悦子）
雄勝中央病院
（研修実施責任者　小松田 敦）
かづの厚生病院
（研修実施責任者　笹生 昌之）
北秋田市民病院
（研修実施責任者　佐藤　誠）
湖東厚生病院
（研修実施責任者　波多野 善明）
JCHO 秋田病院
（研修実施責任者　佐々木 隆）
能代山本医師会病院
（研修実施責任者　加藤 裕治郎）

③協力施設
佐世保市総合医療センター　宇久診療所
（所長　岐部 道広）
能代保健所
（研修実施責任者　保健所長　永井 伸彦）

4 研修の方法

当院を基幹型臨床研修病院、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田赤十字病院、秋田厚生医療センター、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、雄勝中央病院、湖東厚生病院、かづの厚生病院、北秋田市民病院、JCHO 秋田病院、能代山本医師会病院を協力型臨床研修病院とし、充実した病院群を形成してプログラムを実行する。

また当院は、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学医学部附属病院、秋田赤十字病院、秋田厚生医療センター、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、雄勝中央病院の協力型臨床研修病院としても研修医を受け入れる。

以下に各分野における研修可能な協力病院と科目を記載するが、各病院・各科の研修プログラムに従って研修する。

能代厚生医療センターの内科系は血液・腎臓内科 リウマチ科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科から選択し、外科系は外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科から選択する。

協力病院で内科系、外科系として選択できる診療科は、各病院での内科系・外科系の標榜診療科名に準ずる。

必修科目

科　目	期　間	研修可能施設
内科系	35週	当院、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田赤十字病院、秋田厚生医療センター、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、雄勝中央病院
外科系 下記外科系診療科より１科目選択	5週	当院、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田赤十字病院、秋田厚生医療センター、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、雄勝中央病院
救急部門	麻酔科 １年次に５週	当院、能代山本医師会病院
	昼間救急外来研修 5週	当院、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田厚生医療センター、秋田赤十字病院
	時間外救急外来 ２年間で４週以上	当院
精神科	5週	当院、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院
産婦人科	5週	当院、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田赤十字病院
小児科	5週	当院、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院
地域医療	２年次に５週 （研修病院と相談）	JCHO 秋田病院、能代山本医師会病院、湖東厚生病院、かづの厚生病院、北秋田市民病院、宇久診療所

内科系は35週を必修とし、当院（血液・腎臓内科 リウマチ科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科から選択）、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田赤十字病院、秋田厚生医療センター、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、雄勝中央病院の内科系で研修できる。

救急部門は１年次に気道確保、気管挿管などの救急研修に必要な麻酔科実習を５週、昼間救急外来研修を５週行い、更に２年間を通じて夜間あるいは休日の時間外救急外来で４週以上の日数を経験することにより、14週以上の研修期間とする。救急部門の麻酔科実習５週は、能代山本医師会病院でも選択できる。昼間救急外来研修５週は当院の他、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田厚生医療センター、秋田赤十字病院でも研修できる。

地域医療は４週とし、JCHO 秋田病院、能代山本医師会病院、湖東厚生病院、かづの厚生病院、北秋田市民病院、宇久診療所のいずれかで行う。時期は原則２年次に行い研修病院と相談して決める。

外科系（外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、呼吸器外科から１科目選択）５週間、精神科、産婦人科、小児科は各５週を必修とし、外科は当院、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田赤十字病院、秋田厚生医療センター、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、雄勝中央病院で研修できる。

精神科は当院、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院で研修できる。

産婦人科は当院、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院、秋田赤十字病院で研修できる。

小児科は当院、秋田大学医学部附属病院、岩手医科大学附属病院で研修できる。

【一般外来研修】

当院の必修内科系診療科35週間研修中に、一週間に半日分以上外来研修を行う（14日分以上研修）。

当院の必修小児科５週間研修中に、一週間に半日分以上外来研修を行う（２日分以上研修）。

地域医療研修中に、一週間に一日分以上外来研修を行う（４日分以上研修）。地域医療研修を行う施設により、これ以上の研修日数となることもある。

以上合計20日（４週）以上の一般外来研修とする。

【在宅医療研修】

地域医療研修で、在宅診療を週１日～２日、研修施設の予定に従って研修する。

【感染対策】

感染対策、感染制御、薬剤耐性菌への対応

主に１年次に、感染対策委員会と回診へ参加する

【予防医療】

小児科研修および地域医療研修で予防接種へ参加する

【虐待への対応】

小児科医による虐待に関する講義を受講する

【社会復帰支援、退院支援】

主に１年次に、社会復帰支援、退院支援カンファレンスに参加する。

【緩和ケア】

主に１年次に、緩和ケア委員会と回診へ参加する

アドバンスケア・プランニング

【臨床病理検討会（CPC）】

２年間を通じて能代厚生医療センターで行う。

【認知症ケア】

精神科研修で精神科外来研修、認知症外来研修を行い、精神科リエゾンチーム回診へ参加する。

自由選択科目あるいはキャリア研修

能代厚生医療センター	内　科　系	血液・腎臓内科 リウマチ科、 消化器内科、呼吸器内科、循環器内科
	外　科　系	外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、 耳鼻咽喉科
	小児科、産婦人科、精神科、皮膚科、放射線科、病理診断科、麻酔科、救急	
秋田大学医学部附属病院	内科系、外科系、救急、麻酔、小児科、産婦人科、精神科、 皮膚科、眼科、病理診断科	
岩手医科大学附属病院	内科系、外科系、救急、麻酔科、小児科、精神神経科、 産婦人科、放射線診断科・治療科、病理診断科	
秋田赤十字病院	内科系、外科系、救急、産科	
秋田厚生医療センター	内科系、外科系、救急、麻酔	
由利組合総合病院	内科系、外科系	
大曲厚生医療センター	内科系、外科系、麻酔科	
平鹿総合病院	内科系、外科系	
雄勝中央病院	内科、外科系	
かづの厚生病院	地域医療	
北秋田市民病院	地域医療	
湖東厚生病院	地域医療	
能代山本医師会病院	麻酔科、地域医療	
JCHO 秋田病院	眼科、整形外科、地域医療	
宇久診療所	地域医療	
能代保健所	地域保健	

※当院での研修期間は、原則12ヶ月以上とする。

《付記》

- 地域医療の研修時期は協力病院との協議で決める。
- 協力病院、施設での研修期間・時期は、協力病院、施設との協議で決める。